



藤田 まこと

No. 10

議会だより

三月定例会

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央1丁目22-5
青森市議会
社民党・市民の会控室
TEL:017-734-5692
FAX:017-722-8902
印刷所 スタジオとまと
TEL/FAX:017-761-2770

平成25年度 一般会計当初予算成立

～ 当初予算額 1,297億円(骨格予算) ～

(前年度比 136億円 11.6%の増)



● 財政調整のための基金残高は、大幅に減少(貯金)

(単位:百万円)

平成25年度	平成24年度	比較
5,056	7,908	△ 2,852

● 市債残高は、平成21年以降、4年連続で減少(借金)

(単位:百万円)

平成25年度	平成24年度	比較
170,071	172,159	△ 2,088



平成25年度 予算編成の基本的な考え方

本年4月に市長選挙を控えていることから、この市長選挙によって市民の負託を受けた市長が施策を展開しやすくするため、政策的経費の一部を計上しない「骨格予算」を念頭においた予算編成されました。

しかし、従前から事業が進められていた「新ごみ処理施設整備事業」や「小学校給食センター等運営整備事業」の事業本格化のほか、土地開発公社に対する貸付金償還の影響などにより、新青森市移行後最大の予算規模となっています。

<主な取組み>

○ 市民の命を守る優先的・緊急的な取組み

防災対策事業(津波ハザードマップ作成費等)(新) …………… 2,202万円

○ 子ども・子育て支援の充実

子どもの権利擁護委員運営事業(新) …………… 1,975万円

○ 地域福祉の推進

障害者福祉ショップ開設事業(新) …………… 443万円

○ 都市拠点の形成と雪対策

古川一丁目優良建築物等整備事業(新) …………… 1億5,742万円

中心市街地歩道融雪施設等整備事業…………… 4億 520万円
(平成24年度繰越事業)

除排雪業者貸与除雪機整備事業(小型0-列1台・新) …………… 2,289万円

除排雪対策事業(継) …………… 22億3,879万円

石江地区一般保留地購入費助成(新) …………… 2億9,944万円

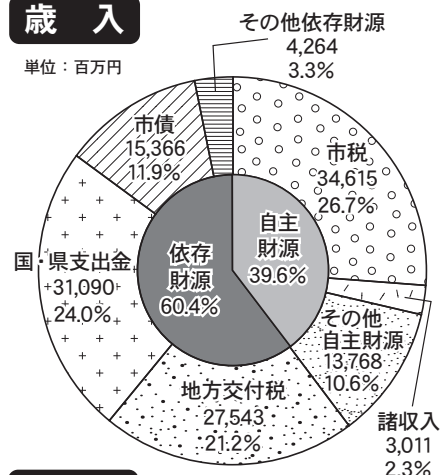
○ バス路線再編事業(拡充) …………… 1億2,230万円

○ 国民健康保険制度の安定的運用(負担緩和のため、一般財源から半分繰出)

国民健康保険事業特別会計繰出金 …………… 17億8,452万円

歳入

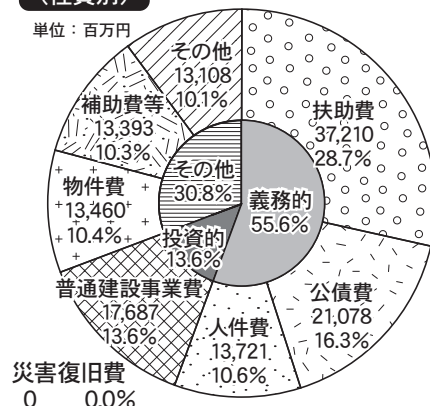
単位:百万円



歳出

(性質別)

単位:百万円



◆ 国民健康保険税大幅引き上げ(17.41%)議案を否決 ◆

国民健康保険特別会計の赤字解消のため、個人負担として17.41%の保険税の引き上げと、一般財源から17.41%を繰出する議案が提案されました。この内容で青森市長が青森市国民健康保険運営協議会に諮問、協議会は諮問通りに市長に17.41%引き上げの答申を行い、負担が多すぎるとの意見が議会から出されたものの、意見を取り入れる

事無く、答申通りの議案として提案されましたが、市議会では否決をされました。市長はこの否決を受け、青森市長選挙後に再度17.41%引き上げをする考えを示しました。

- 4人世帯(40代夫婦、子ども2人)介護保険納付者2名
給与収入311万1千円 年間75,100円(19.64%)引き上げ
- 2人世帯(夫婦)介護保険納付者 無し
年金収入188万円 年間12,400円(11.95%)引き上げ
- 軽減世帯数 27,479世帯(全体の55.18%)

一般質問



恒久的な雪対策について

1. 河川水を利用した簡易流雪溝について

沖館川、新城川(通称 新田川)等の河川水、または消火栓の水を利用し、既存の側溝に流す簡易型流雪溝の利用が可能か質問した。

答弁

既存の道路側溝は幅が30、40cmで流雪溝とは構造が違い、側溝への投雪による道路冠水が発生する恐れがあるので困難。

※桜川地区の流雪溝の工費は1世帯あたりに換算すると、約300万円になる

これまでの雪対策の質問

沖館川、新城川周辺に恒久的な雪対策としての流・融雪溝を求めてきました。また、新田浄化センターの処理水の融雪利用について、水量が足りないのでは出来ないのと答弁。水量は少なくとも当面新田地区だけでの利用を訴えたが取り入れられませんでした。将来への利用計画に組み入れるよう訴えてきましたが実現に至っていません。また、国道の側溝整備も油川以北で設置されている流雪溝が設置されませんでした。富田地区で約40年前に使われてい

た農業用水の調査については、港湾河川課に協力していただき現状が少し理解できました。これまで、かつての農業用水は線路西側の新青森駅側で新城川に導かれ排水されていた。かつての線路下の農業用水の水路が残っているかを調査しています。

新年度予算に調査費の要望

新年度予算に河川水を利用した流・融雪溝の設置可能性調査(既存の側溝を利用した簡易流・融雪溝

の実験予算)を要望したが、一般質問での答弁の通りで実施困難とのことでした。



2. 側溝での地熱利用の簡易融雪溝について

側溝に投雪する事により、側溝内で雪が溶けている事から、側溝の更新工事をする時、通常より深い側溝を設置して、冬期間の融雪に使用できる可能性がある事から質問した。

(夏期間はポンプを利用し、雨水が滞留しないようにする)

答弁

地下熱を利用して融雪する場合、地下15メートル以上のボーリングをして採熱する必要がある、通常より深い側溝を設置しただけでは必要な熱量は確保できないので困難。

その他の一般質問

2. 浪岡不燃物処分場の二次調査の進捗状況
3. 宅地分譲について(富田3丁目の工業高校跡地の分譲地の課題)
4. 町名変更に伴う手続きの簡素化について
5. 生活保護制度における扶養能力調査の目的と手法について

議会活動の2年間を振り返って、地元で恒久的な雪対策を進めるには、予算の執行権のある市長にならないと無理なような気がしてきました。今後とも諦める事無く、毎年訪れる冬(雪)対策、少しでも快適な冬を過ごすための方策を議会で訴えていきますので、地域の皆様のご意見・ご協力をお願い致します。

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党・市民の会控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

予算委員会での質問と要望

- 青森市文化スポーツ振興公社の職員の解雇問題について
- 油川市民センターの指定管理者制度について
- 重度心身障がい者移動支援(タクシー券等)対策事業
- 給与削減について
- 住民からの意見について

— 要望 —

- 危険家屋について(片屋根への雪止めの設置)
- 庁舎について(改修への考え)
- 特別支援学校への支援体制について
- 学校の窓ガラスの飛散防止対策のフィルム(避難経路への対策)
- 国道7号バイパスから新青森駅東口の進入について(除雪の徹底)